



木地区 宝地 公民館だより

宝木地区文化祭（4年ぶりに開催）
（令和5年10月21日～10月22日）

久しぶりの演奏を終えて

ひかりなつたいこ
輝夏 太鼓

三年間の月日を選び越えて、
六人のメンバーが集い、新しい仲間を一人迎え練習を再開しました。

年齢を重ね、技術的にも体力的にも不安がありました。

それから約一年、ようやく調子が出てきた頃の宝木地区公民館から

のお誘いで

した。観客

の前で披露

できる緊張

感に練習意

欲が高まり、

演奏らしさを

を取り戻し、当日を迎えました。夢中でばちを振り、温かい大きな拍手に支えられ、何とか演奏を終えることができました。



宝木地区文化祭の盛り上がりにも驚きました。演芸発表や作品展に加え、たくさんの

皆さんが集まって賑わっている様子に、宝木地区の力を感しました。仲間に入れていただきありがとうございます。

文化祭で

「原発のない宝木」朗読劇
宝木婦人会 本部 澄

婦人会が刊行した「原発のないふるさと」を参考に朗読劇を作り、文化祭で発表しました。

中国電力の長尾鼻原発計画を察知した当時の役員、村上小枝さん、小泉澄子さんは県連合婦人会と共に阻止活動を開始。死の灰の恐ろしさ、放射能の毒性、遺伝の危険、鳥取県は地震が一番問題等学習を重ね、その内容を婦人会報で、また写真資料を乳母車に載せ地域を回って鳥取県の隅々に発信しました。並行し、署名活動・一坪運動・風船と

ばし・・・
朗読劇初の者が殆どで、マイクの使い方も気に出来ない

ほどの緊張感で行いました。

現在、長尾鼻眼下に広がる

自然豊かな

美しい日本

海があるの

は婦人会諸

先輩の功績

である事を

少しでも知

って欲しく

発表しまし

た。宝木婦人会の誇りです。

日本海新聞コラム欄に「40

年前に青谷に原発は要らない

と声を上げた地域の人たちの

慧眼には頭が下がる。」と記さ

れていました。



環境視察に参加して

岡田 千鶴

昨年一月再稼働した「リンピアいなば」。まだ行った事がなく参加しました。

広大な土地に大きな建物が
あり、一日に処理される可燃
ゴミの量は200トン！膨大

な量ですね。

見学コースもゴミの処理がよ

く分かり環境にやさしいです。

次に「いなばエコ・リサイ

クルセンター」へ。私達が普

段出しているゴミがどのよう

に処理されるのか？

まずは、ゴ

ミの中にプ

ラでない物

が混入され

ているので

取り除く作

業から始ま

ります。

色々な段階

を踏み、最

後にプラン

ターやペレ

ットに生ま

れ変わるの

です。

昼食は、

緑豊かな大

江の山々に囲まれ紅葉を背に、

ちよっと優雅な気分です。食事を

頂き、最後に道の駅で買い物

をして帰宅しました。



リンピアいなば



いなばエコ・リサイクルセンター

あらためて、分別の大切さ
が分かり重要性を認識しまし
た。

男の料理教室に参加して

山中 秀行

最近思う所あり、今後おひ
とり様生活を確立させるべく
公民館主催の男の料理教室に
参加してみました。

はじめに

抱いていた

イメージと

違い、結構

しっかりと

したメニュー

構成で少

々面からっ

た。管理栄養士が講師を務め

る時点で気づくべきであった。

もっとスムーズに進行するの

かと思っただが、意外とトラブ

ルに見舞われてあせった。小

籠包の皮作りの際、先生の作

られるものと自分達の作った

ものとの超えられない壁を感

じた。にわか料理人のわれわ



れとはやはり格の違いがある。
様々なトラブルにも落ち着い
て対処されていて感嘆の声を
上げざるをえない。
色々なアクシデントがあり
つつも収穫の多い料理教室で、
今後自分自身の生活に役立て
ていきたい。



中華料理
小籠包・中華おこわ・酸辣湯

冬休みもの作り教室

「コマ作り参加して

四年 岡田 陽斗

十二月二十五日に公民館で
行われたコマ作りに参加しま
した。くふうしたところは、
お正月らしさがでるように羽
子板・羽根・梅の花などを、

コマにはりつけました。

その後、参加者で、自分の作ったコマを回して楽しく遊びました。



去年は、他にもおかしなどの調理、バドミントンなどのスポーツ体験、おとまり隊などに参加して、とても楽しかったので、今年もあれば参加したいと思っています。いつもありがとうございます。



旧正月大会

もちつき・けん玉作り

四年 上川 広夢

1月21日に、もちつきとけん玉作り

ん玉作りがありました。一番楽しかったことは、みんなでもちをついてたべたところです。きなこのもちとあずきもちがありました。ぼくは、きなこのもちがおいしかったです。

また来年も食べたいです。



じげの昔ばなし

上光小学校

上光 高浜 耕之輔

昔、上光に立派な小学校があったことをご存じだろうか。廃校となるまで、今の上光バス停の少し鹿野側(狭間地区)にあった。校区は昔の上光村・下光元村で、今では想像もつかないが全校で百人を超えていた時期もあったらしい。

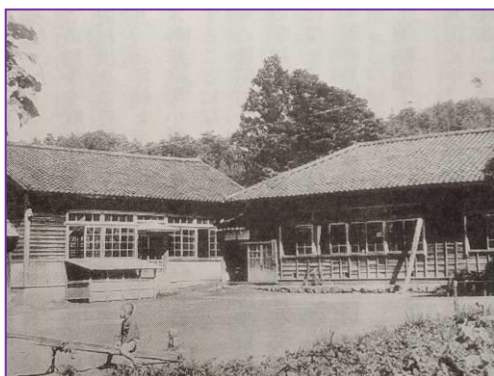
元々は明治四年(一八七一年)に今の上光公民館の北側(馬場地区)辺りに元土族の人が開いた寺小屋が小学校になったのが始まりで、最初は近所の子ども六人から教え始めたというが、段々と生徒数が増えてきたため、明治三十年代に狭間地区に移転したというのである。

明治十九年(一八八六年)に小学校令が公布された後は上光尋常小学校として四年間の通学が義務となったが、家

計困窮の子どもは特例で免除になるなどなかなか徹底できなかったという。

子どもは当然徒歩通学であったが、明治四〇年代ごろの麻木善吉という校長先生などは、一五年間も三津から徒歩で昔の狭い中坂道を通ったと伝えられており、そういう時代であったとしても現代の我々からは考えられないことである。

九十年以上も連続と続いた小学校であったが現在は空き地となっており、住民が懐旧の想いととも年に数回草刈り作業を行っている。



明治30年代の上光小学校

公民館事業のスナップ写真



宝木地区公民館では、色々な事業を開催しています。令和5年10月～開催した事業の一部です。



広報部



文化祭看板・ポスター作り



女性部

フラワーアレンジメント教室



わくわく子ども事業



こんにゃく作り教室



はてなクラブ 木工教室



文化祭 紙飛行機大会



宝木のおもちゃ病院



23m
80cmの
大会新記
録達成！



文化部

はてなクラブ
クリスマス会



しめ飾り作り



健康部

各種測定
身体のチェック



身体を
温める体操



編集後記
令和5年度下半期の「公民館だより」が完成しました。今年度に予定されていた事業はほぼ開催する事が出来ました。
公民館だよりに寄稿いただいた宝木地区住民の皆様・事業に参加いただきました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。
宝木地区公民館では、さまざまな講座やイベントを開催しております。
お気軽にご参加下さい。